

科目名	幼児と人間関係（卒業必修：保育士必修：幼稚園教諭二種必修）		
授業形態	演習	学年	1
開講時期	2021年度 前期	単位数	1
担当教員	吉田 亜矢		
内容および計画	乳幼児は家族から離れ、幼稚園・保育所・認定こども園の場で初めて本格的な社会生活を送ることになる。人間関係とは大人との関係、教師や保育士との関係、幼児同士の関係、家族・地域とのかかわり等多様である。これらの人間関係は乳幼児の発達にとって重要な意味を持ち、社会生活を送る上で欠かせないものであるといえる。本科目は、領域「人間関係」の背景や意義について理解を深め、乳幼児の「人とかかわる力」の発達や乳幼児の「人とかかわる力」の発達を支える人的環境としての保育者および豊かにする幼稚園や保育所、認定こども園の役割について学ぶ。		
1	領域「人間関係」の変革 ～現代の特長と社会的背景～		
2	「人間関係」の発達と保育者の援助① 0歳児の人との関わり		
3	「人間関係」の発達と保育者の援助② 1歳児の人との関わり		
4	「人間関係」の発達と保育者の援助③ 2歳児の人との関わり		
5	乳児期の人間関係を育む保育の事例検討、討議(グループディスカッション)		
6	「人間関係」の発達と保育者の援助④ 3歳児の人との関わり		
7	「人間関係」の発達と保育者の援助⑤ 4歳児の人との関わり		
8	「人間関係」の発達と保育者の援助⑥ 5歳児の人との関わり		
9	幼児期の人間関係を育む保育の事例検討、討議(グループディスカッション)		
10	子どもの自立心と協同性を育てる人間関係		
11	子どもの生きる力と道徳性を培う保育(指導案の立案、検討)		
12	子どもの生きる力と道徳性を培う保育(模擬保育、討論)		
13	特別な支援を必要とする子どもとの関わり		
14	人間関係を育む環境：保育者同士の「人間関係」・保護者と保育者の「人間関係」		
15	園・家庭・地域で育む「人間関係」、小学校への接続、連携・協働		
教科書			
	タイトル	著者名	出版社
	『幼稚園教育要領<平成29年告示>』	文部科学省	
	『保育所保育指針<平成29年告示>』	厚生労働省	
	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領<平成29年告示>』	内閣府、厚生労働省、文部科学省	
	演習保育内容人間関係	田代和美・松村正幸 編著	建帛社
参考書	視聴覚教材 DVD『3年間の保育記録』岩波映像株式会社		
成績評価			
	評価方法	割合(%)	
	レポート	50	
	ワークシート	50	

学習到達目標	<p>1. 保育内容「人間関係」のねらい・内容、乳幼児期の人間関係の発達について 理解し、説明できる。</p> <p>2. 具体的な事例をもとに保育者として乳幼児が人との関わり方を身に付ける援助について各年齢の発達の特徴と関連付けて説明できる。</p> <p>3. 「人間関係」で習得した理論や知識の理解を深め、指導案を立案し実際の保育現場での指導につながる実践力を習得する。</p>
先修条件	
実務経験	<p>実務経験あり：幼稚園、保育園に幼稚園教諭、保育士として従事した後、保育者養成校である他の大学、短期大学部で、幼児教育および心理学系の課程科目を担当してきた。また、小学校、幼稚園のスクールカウンセラーとして子どもや保護者を対象とした心理臨床経験を有している。これらの経験をもとに、受講者の興味関心に沿って教授する。</p>
その他	